

JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	仲田莉果	学校名	埼玉県立大宮中央高等学校 (単位制による通信制)
担当教科等	地理歴史 (地理 A)	対象学年 (人数)	1 ～ 3 年次 (32 名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	令和 3 年 1 月 7 日 (1 時間)		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：地理歴史 「地理 A」 第 4 回目のスクーリング (最終回)		
2. 単元 (活動)：「地球的課題と私たち」「日本の自然環境と防災」		
3. 授業テーマ (タイトル) と単元目標 授業テーマ：「地球的課題と私たち」「日本の自然環境と防災」 — S D G s を通じて地球的課題や防災に関する問題を学び、私たちの生活の在り方について考えよう — 単元目標：①環境、資源・エネルギー、人口、食料問題は、それぞれ相互に関連し合っていることに気づき、これらの課題の解決には、持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。／②我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることについて考察させる。 関連する学習指導要領上の目標： 1. 科目の目標：(1) ウ、地球的課題の地理的考察「環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。」／(2) イ、自然環境と防災「我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。」 2. 内容とその取扱い：(1) ウ、地球的課題の地理的考察 「この中項目は、環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を大観するとともに、具体的な事例地域を通してとらえ、各地域でその現れ方が異なっていることを理解させ、また、それらの解決に当たっては持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させることを主なねらいとしている。」・・・中略・・・ ・・・「環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題」は、現代世界が抱えている多くの地球的課題の中で、地球的視野から大観するとともに、地域性を踏まえてとらえることによって問題の所在や解決の方向性などがより明確になり、地理的に考察することが効果的な課題である。」 (2) イ、自然環境と防災 「この中項目は、生活圏の諸課題のうち、自然災害に関する課題を扱い、日本で発生する自然災害の典型的な事例を学習するだけでなく、生徒が居住している地域の自然災害について、年次の異なる地形図やハザードマップなどを読み取るなどの作業的、体験的な学習を通して、生活圏における自然環境の特色と自然災害とのかかわりを理解させるとともに、地理的技能を身に付けさせ、これらの学習から防災意識を高めることを主なねらいとしている。」		
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	①環境、資源・エネルギー、人口、食料問題といった地球的課題について理解を深め、それらが互いに関連していることに気付くことができる。「S D G s」や「フェアトレード」についての基礎

		的な知識を身に付け、開発途上国の現状を知ることができる。 ②日本の自然環境の特色と自然災害の関わりについて知識を深め「ハザードマップ」の基本的な使い方を理解することができる。
	②思考力、判断力、表現力等	①地球的課題が相互に関連しあっていることを踏まえ、先進国と開発途上国が協力して解決していかなければならないことに気付くことができる。また、そうした世界の現状を知り、自らの生活を振り返ることができ、考えたことを適切に表現できる。 ②東日本大震災で被災した「旧荒浜小学校」について学び、なぜ震災遺構として残されたのかについて考えることができる。また、防災の重要性について考え、GISを用いた「ハザードマップ」から、指定された場所を正しく見つけることができる。
	③学びに向かう力、人間性等	①地球的課題について学び、「SDGs」が自分の生活のどの部分に関わっているものであるかを考え、生活を見直すことができる。 ②震災遺構である「旧荒浜小学校」の映像や、「ハザードマップ」の読み取り作業などを通して、防災意識を高めることができる。
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童／生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 本課程は県内唯一の公立通信制高校に置かれた課程であり、様々な事情により他校から転学または退学した生徒のみを受け入れている。グローバル化が進む中、こうした特殊な環境で学ぶ通信制の生徒に対しても、環境問題やエネルギー問題、人口、食料問題など世界中で起こっている地球的課題について理解を深めてもらいたいと考え、今回の単元設定に至った。また、東日本大震災が起こって10年目を迎えようとする今、「防災教育」の必要性を鑑み、災害の恐ろしさや防災の重要性について考えてもらいたいと思い、日本の地形と自然災害についても取り上げる。 【単元の意義】 「地球的課題と私たち」と「日本の自然環境と防災」は、「地理A」の最後に学ぶ大単元で、令和4（2022）年から実施される「地理総合」の新しい学習指導要領にも引き継がれる重要な単元となっている。現代社会が直面しているさまざまな地球的課題や特徴ある日本の自然環境、そして日本で実際に起こった自然災害などについて扱う。 今回は、今注目されている「SDGs」を紹介し、環境問題とエネルギー問題、人口、食料問題が相互に関連しあっていることに気づいてもらうことをねらいとする。また、それらが複雑に関連しあうことで、より解決が難しくなっていることにも触れていきたい。スクーリングでは「SDGs」を切り口に、日本やザンビアで撮影された写真が「SDGs」のどのゴールに当てはまるものかを考えてもらう。また、フェアトレード認証のバナナ繊維からできた「バナナペーパー」製の「SDGs」シールを使ってワークをしてもらうことで、生徒に「フェアトレード」をより身近に感じてもらうような工夫も取り入れる。 もう一つの単元「日本の自然環境と防災」では、東日本大震災の遺構である「旧荒浜小学校」を取り上げる。地域の住民にとって、震災の悲しい記憶のある遺構をなぜ残すことにしたかの経緯、震災後今なお大勢の人々が来館されていることについて学び、防災の重要性について考えてもらうきっかけを与えたい。また、今回はスマホを用いて、生徒に「防災マップ」を実際に使ってもらい、防災意識を高めることもねらいとする。 【児童／生徒観】 本校は通信制高校であり、生徒は週1回のスクーリング（面接指導）、レポート（提出課題）による自学自習を中心に学んでいる。単位制であるため学年の枠がなく、生徒は自分の未修得の科目を選んで履修する。単位認定は半年ごとに行われている。 今回対象とする「地理A」のスクーリングは、新入生を含んだ32名が受講している。生徒の実態として、いじめや不登校の経験等さまざまな事情を抱えて本校に来た生徒が多く、他人と関わることが苦手な生徒も見られる。学力や学習意欲の差も大きいいため、具体的にわかりやすい教材の提示やこまめな机間巡視、学習の動機づけが求められる。	

【指導観】 先述したように、通信制高校には他人との関わりに強い苦手意識を持っている生徒が多い。そのため、グループワークなどの主体的な活動を入れることが難しい。全日制に比べて授業時数も少ないので、1回で最低1つの大単元、一度に教科書数十ページを進めなければならない。従って授業内容の精選を念頭に置きつつも、生徒に主体的な学びを提供できるような授業づくりを心掛けた。今回はプリントを用いて、生徒が個人でも学べるシートを用いたワークを導入し、映像などの視聴覚教材も積極的に活用した。				
6. 単元計画（全 1 時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など ※：JICA リソース 活用はこちらに記載
1 本時	「地球的課題と私たち」	環境、資源・エネルギー、人口、食料問題は、それぞれ相互に関連し合っていることに気づき、これらの課題の解決には、持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。	・「地球環境問題にはどんなものがありますか」を発問し、生徒に考えてもらう。世界中で環境、資源・エネルギー、人口、食料問題が起こっていることを説明する。 ・環境問題の解決のために「持続可能な開発」が目指されていることを紹介し、SDGsについて解説する。SDGsを載せたプリントを配布し、「あなたは『SDGs』の中で、どれが最も大切な目標であると思いますか？」と発問し、生徒に選んでもらう。 ・日本の「次の写真は、『SDGs』の17のゴールのどれに関連するだろうか？」と発問し、提示された写真をSDGsで分類してもらう。 例) SDGsの12   ・「フェアトレード」について簡単に紹介する。「みなさんは『フェアトレード』というと、どんなイメージが浮かびますか？」と発問し、世界のフェアトレードの概要や理念についてまとめた映像（DVD）を視聴する。	・JICAで入手した世界地図 ・フェアトレード認証のバナナ繊維からできた「ザンビアバナナペーパー」製のシート ・ザンビア各地で撮影した写真（鍵のついた水道、路上で販売されている木炭） ・アジア太平洋資料センター（PARC）「もっと！フェアトレード」（2014年製作）DVD 
	「日本の自然環境と防災」	我が国の自然環境の特色と自然災害とのかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。	・「日本はなぜ地震大国なのだろう？」と発問し、日本はプレートの境界にある国であるため地震などの災害が多いことを説明する。 ・東日本大震災の震災遺構「旧荒浜小学校」を紹介する。震災が起きて10年目を迎えるとする今も、被災した荒浜小学校が、震災遺構として残されていることに触れ、残された意義や防災の重要性について考えさせる。 ・奈良大学地理学科が作成した「防災マップ」から「大宮中央高校を探してみよう」と指示する。生徒には、QRコードからスマホで読み取ってもらい、実際に探してもらう。  「防災マップ」を読み取り、大宮中央高校は「避難場所」となっていることを説明する。	・仙台市の公式ホームページ「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」紹介映像 (https://www.city.sendai.jp/kankyo/shisetsu/ruin_arahama_elementaryschool.html) ・「防災マップ」（奈良大学地理学科の木村教授より提供）  (https://arcg.is/1eHDru)

7. 本時の展開 (1 時間目)			
本時のねらい: SDG sを通じて地球的課題や防災に関する問題を学び、私たちの生活の在り方について考察する。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
出欠 確認 (3分)	・OCR(出席表)をまわし、出欠確認をする。 ・レポートについての本校のルールを説明する。 ・教科書やレポートのページを確認させる。	・レポートの提出期限など、具体的な日にちを板書し、確認させる。	地理Aレポート6通目 (以下、レポートp○○と表記する)
	発問「地球環境問題にはどんなものがありますか」 Ex)森林破壊、砂漠化、地球温暖化、オゾン層の破壊・世界で環境問題が起こっていることを説明。 レポートp6-1 1節【1】(1)～(6)を解説。 ・日本の動向として、2020年菅首相が2050年までに温室効果ガスゼロを目標としたことを紹介する。	・本校では指名をする生徒が委縮してしまうことがあるので、様子を見ながら行うよう配慮する。 ・教科書p148を参考にして問題を解いていく。机間巡視で確認。	教科書p148 「さまざまな環境問題」 レポートp6-1 ・世界地図
	環境問題の解決のために持続可能な開発が目指されていることを説明し、SDG sについて紹介。 発問「あなたは『SDG s』の中で、どれが最も大切な目標だと思いますか?」(3分) こうした地球規模の問題に対する、2030年までの17のゴールを「SDG s」と言うことを解説。 レポートp6-2 3節【1】(1)を板書し解説する。 レポートp6-2 4節【1】(1)を板書し解説する。 発問「次の写真は、『SDG s』の17のゴールのどれに関連するだろうか?」(5分)	・SDG sシールを配布(JICA東京より提供して頂いたもの) ・シールの使い方を説明しておく。 ・授業プリントを配布 ・黒板に貼った世界地図で「ザンビア」の位置を確認させる。 ・SDG s 12「つくる責任 つかう責任」を例に挙げ、【Q2】の作業の方法を説明する。机間巡視も行う。 ・【Q2】の解答は大型TV画面に表示する。 ・授業プリントにある例2と一緒にやりながら、作業の方法を説明。	教科書p149 レポートp6-1 1節【1】(6) ・SDG sの図  授業プリント【Q1】 ・世界地図 教科書p154、158 レポートp6-2 授業プリント【Q2】  SDG s 12「つくる責任 つかう責任」
	「発展途上国」ではSDG sの達成が困難であることを伝え、途上国の食料問題について紹介する。 レポートp6-3 6節【1】(1)を板書し解説する。 発問「みなさんは『フェアトレード』という、どんなイメージが浮かびますか?」 DVD「もっと! フェアトレード」(4分)を視聴。 ・安価な農産物や衣類、雑貨の生産には、途上国の犠牲があることについて、補足説明を加える。 ・配布したSDG sシールもフェアトレード認証のバナナ繊維から作った製品であることを伝える。 配布したシール	・「発展途上国」ではなく「開発途上国」という言い方に留意する。 ・教科書p162を読んでもらう。 ・授業者が実際に去年ザンビアを訪問した時の体験なども伝える。 ・生産者も消費者も、エシカル(倫理的)でサステナブル(持続可能)な視点が必要であることを伝える。 ・地球的課題の解決のためには、開発途上国と先進国が協力していかなければならないことを強調する。	教科書p162 レポートp6-3 教科書p163 DVD「もっと! フェアトレード」(2014年製作)アジア太平洋資料センター(PARC) 

	バングラデシュ縫製工場倒壊事故の解説を行う。 発問「日本はなぜ地震大国なのだろう？」 Ex)兵庫県南部地震、東北地方太平洋沖地震・・・ →日本はプレートの境界にある国だと説明する。 レポート p6-4 2章【1】(1)～(3)を解説。 「遺構荒浜小学校の紹介映像」(3分)を視聴。 東日本大震災が起きて9年目を迎える今も、被災した荒浜小学校が、震災遺構として残されていることを紹介し、防災の重要性について考えさせる。 発問「防災マップで大宮中央高校を探してみよう」 →大宮中央高校は「避難場所」であると説明する。  防災マップ	・教科書 p 178 を参考にし、レポート p6-4 2章【1】(1)をやってもらい、机間巡視で確認。 レポート p6-5 2章【2】(5) ・仙台市のホームページにある「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」の項目を提示し、施設概要を伝える。 ・QRコードからスマホで「防災マップ」を読み取ってもらい、大宮中央高校を探してもらい、机間巡視をしながら声掛けする。	教科書 p 178 レポート p6-4, p6-5 ・仙台市の公式ホームページ「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」紹介映像  ・「防災マップ」QRコード (奈良大 地理学科) 
まとめ (5分)	本時の感想をプリント【Q3】欄に記入(3分) ・単位を修得するための教科のルールを説明する。	・【Q3】に感想を記入しているか確認し、レポート締切日を伝える。	授業プリント【Q3】

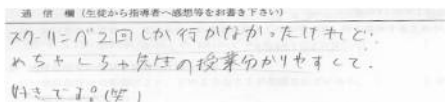
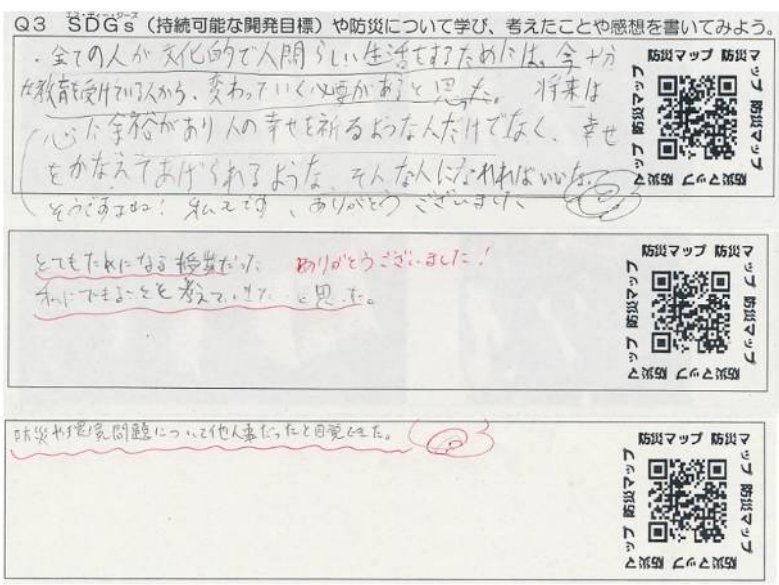
9. 学習方法及び外部との連携：外部機関との連携はできませんでしたが、現代社会「私たちの生きる社会」の単元でも、ザンビアの写真や実物教材を活用し、現地での体験を紹介しました。

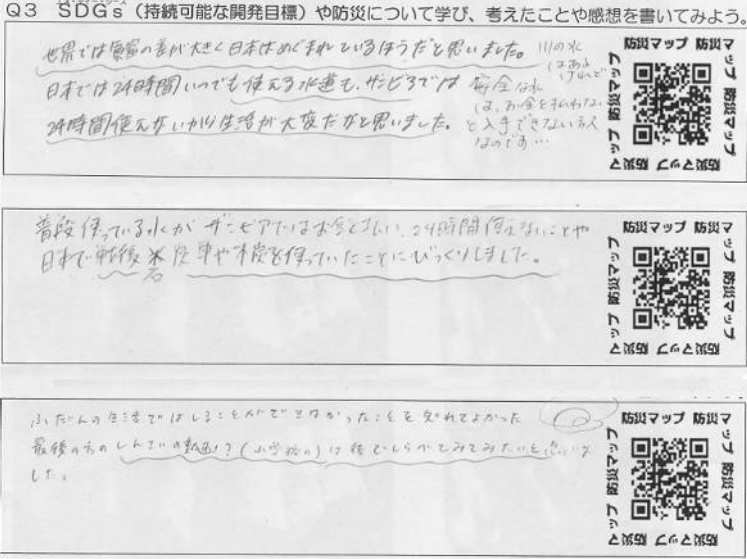
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、学校内外で授業実践を広める取組はほとんどできなかったです。前年度の教海研参加時に参加した、埼玉県高等学校定時制通信制教育研究協議会も開催されなかったため、校外で国際理解教育や授業実践の取組を紹介することはできませんでした。

【自己評価】

11. 苦勞した点	通信制高校での実践だったため、通信制ならではの様々な制約があり、指導案作りには非常に苦勞しました。通信制では、授業の出席は任意で、遅刻は10分まで認められていることや、当日にならないと何人出席するかわからないことなど、全日制高校とは異なるルールがあります。 今年の教海研では、震災遺構である「遺構荒浜小学校」関係者によるオンライン講義がありました。私自身、この遺構荒浜小学校とのZOOMを用いた研修プログラムが大変心に残り、せっかくなので防災をテーマに授業づくりをしたいと考え、「地理A」の授業に決めました。授業前半に「地球的課題」の単元でSDGsを取り上げ、後半に「日本の自然環境と防災」で「遺構荒浜小学校」を取り上げることにしました。しかし、テーマは決まったものの、通信制では1回のスクリーニングで教科書数十ページ進めなければならず、教材を精選していかなければなりません。また、本校の生徒は県内様々な高校から転退学して来ているため、学力差が大きく、教授方法にも工夫が必要です。いじめや不登校の経験を持った生徒も多いため、対人関係にトラウマを持つ生徒に、いきなりグループワーク等の主体的な活動をしてもらうことはできません。こういった様々な課題を1つ1つ検討しながら、指導案を作っていくことは、予想以上に大変でした。 ただ一方で、昨年度から教海研に参加していたため、前回の授業づくりがヒントになることもありました。昨年度は「スマートフォン」の原料である「レアメタル」をテーマに授業を作りましたが、生徒の反応が良好でした。そのため、今回は実際に「スマートフォン」を用いた活動を
------------------	--

	取り入れてみたいと思い、QRコードを用いた作業を取り入れることにしました。その結果、QRコードからスマートフォンで「防災マップ」を開き、身近な地域を読み取ってもらうような作業を入れました。このように、昨年度を参考にしつつ、日々悩みながら指導案を書いていきました。 そして、指導案を考える上で苦労したもう1つの点は、生徒に興味を持ってもらえる視聴覚教材探しです。今回は、「地理 A」の教科書にも載っている「フェアトレード」についての映像を見つけないかと思い、映像探しに奔走しました。膨大な内容を一度に扱う通信制の授業では、時間の制約があるので、自分が解説するよりも見せた方がいいと思える映像だけを厳選しました。
12. 改善点	先述した通り、本校は通信制高校であるため、対人関係に強い不安や苦手意識を持つ生徒が多く、グループワークなど主体的な活動を取り入れることができませんでした。コロナ禍の今は、全日制高校でも難しいとは思いますが、できれば生徒同士直接やり取りができるような活動を取り入れたかったです。ただ、今回はその分机間巡視で生徒に声掛けをし、生徒の意見を紹介することができました。今回感じた改善点は、今後の授業づくりに活かしていきたいと思います。
13. 成果が出た点	通信制高校である本校では、授業（スクーリング）を受けるだけでなくレポートを提出しなければなりません。授業実践後は、昨年よりもレポートの提出状況が非常に良くなったように感じました。出席した子の中には、レポートの通信欄に感想を書いて出してくれる生徒もいました。 
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	授業後の感想には「全ての人が文化的で人間らしい生活をするためには、今十分な教育を受けている人から、変わっていく必要があると思った。」というものや、「とてもためになる授業だった。私にできることを考えていきたいと思った。」といった、授業を好意的に受け止めてくれている感想が多かったです。この授業を通じて、生徒が自らの生活を見直すことに繋がったようでした。「防災や環境問題について他人事だったと自覚できた。」という感想もあり、生徒が途上国の現状やSDGs、震災を自分事としてとらえることができるようになったように感じました。  また、授業で扱った内容そのものに関心を持ってくれている感想も目立ちました。ザンビアの水事情に対して、「日本では24時間使える水道も、ザンビアでは24時間使えないから生活が大変だと思いました。」や、資源・エネルギー問題で紹介した木炭車を挙げて、「日本で戦後木炭車や木炭を使っていたことにびっくりしました。」などがありました。また、動画を流した「遺構

	荒浜小学校」に関心をもち、「普段の生活では知ることのできなかったことを知れてよかった。最後の震災の動画（小学校）は後で調べてみたいと思いました。」と書いてくれた子もいました。 Q3 SDGs（持続可能な開発目標）や防災について学び、考えたことや感想を書いてみよう。 
15. 授業者による自由記述（教師海外研修に参加した本学習指導案作成者として、他の教員へのメッセージなど）	今回で教海研は2回目の参加となりましたが、前回に引き続き、学び多き研修となりました。今年度は新型コロナの影響で海外に行くことができず、国内研修となりましたが、中身の濃い充実した1年間を過ごすことができました。何より、これまでこの研修は一生に一度しか参加できないものでしたので、2年連続して受講することができたのは幸運でした。過年度参加者をはじめ、他県や異校種の先生方と出会うことができ、大変刺激を受けました。コロナ禍で社会情勢が不安定な中、開催してくださったJICA 東京の皆様、講師の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。 教海研の魅力の1つは、何と言っても普段の生活ではお会いできない多様な先生方と出会えることです。私自身は、教海研に参加する前は家と職場の往復といった生活で、日々分掌の仕事や授業の準備をするのに精一杯でした。しかし、教海研には自分よりももっと視野の広い先生方が沢山いらっしゃるのので、自分の世界観を広げることができます。新しい知識や技術が次々と生まれ、ますます複雑化していく世の中において、教海研は自分を「アップデート」できる機会だと思います。そしてここでの経験は、この先どんな学校に赴任しても役立つものだと感じています。 また、今回の研修では「SDGs」以外にも、例えば「震災」や「移民」、「多文化共生」など国内の様々なテーマも扱っていただきました。一見すると関連がないように思えますが、その1つ1つが、SDGsと関わっていること、相互に関連しあっていることに気付くことができました。 今後も国際理解教育に携わっていきたいと実感できた1年でした。ありがとうございました。  

参考資料：アジア太平洋資料センター（PARC）（2014）DVD「もっと！フェアトレード」、
 柴山知也（2011）「3.11 津波で何が起きたかー被害調査と減災戦略ー」（早稲田大学ブックレット「震災後」に考える 004）、早稲田大学出版部、吉野英岐/編・加藤真義/編（2019）「震災復興と展望ー持続可能な地域社会をめざしてー」（シリーズ被災地から未来を考える）有斐閣

(切り離さず、提出すること)

レポート 添削票



科目	地 理 A	回数	第 6 通目 / 6 通中
----	-------	----	---------------

*注意 ☐ 内は、生徒が記入すること。 レポート番号

0	2	×	4	1	0	6
---	---	---	---	---	---	---

学籍番号 る。	HB 以上の濃い鉛筆を使用す 下の「数字見本」にならうこと。
生徒氏名	完了 ☐ 再提出 ☐

指 導 者

仲田 莉果

(切り離さず、提出すること)

レポート 受付票



科目	地 理 A	回数	第 6 通目 / 6 通中
----	-------	----	---------------

*注意 ☐ 内は、生徒が記入すること。 レポート番号

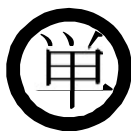
0	2	×	4	1	0	6
---	---	---	---	---	---	---

学籍番号 る。	HB 以上の濃い鉛筆を使用す 下の「数字見本」にならうこと。
生徒氏名	

*数字見本

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

★ 2枚目の「住所・氏名欄」も必ず記入すること。



科目	地 理 A	回数	第 6 通目 / 6 通中
----	-------	----	---------------

クラス

学籍番号

〒				—				市 町 村
(区)								
番地								
様								

注意 : { 上記 内は、すべて生徒自身で記入すること。
住所は「省略せず」市区町村名から記入すること。

提出期限	月	日
------	---	---

埼玉県教育委員会認可通信教育

レポート番号	0	2	×	4	1	0	6
--------	---	---	---	---	---	---	---



指導者	仲田 莉果
-----	-------

講 評 欄

レポートに取り組む際のルール

- ・レポート受付票、レポート添削票、レポート色表紙の学籍番号・住所・氏名とレポートの内容はすべて、HB以上の濃い鉛筆で、
ていねいな字で本人が記入してください。
- ・レポートは、必ず自分で取り組んでください。
不正行為を行った場合は、単位認定をすることはできません。
- ・レポートは計画的に取り組み、締切前にまとめて提出することがないようにしてください。
- ・レポートは、締切を守って提出し、完了を目指して取り組んでください。
- ・レポートの内容について質問がある場合は、**火曜日の質問日**を利用して
ください。

通 信 欄（生徒から指導者へ感想等をお書き下さい）

2 節 世界の環境問題

1 さまざまな環境問題 (p.148～149)

- (1) 農地開発や木材取得のために世界各地で何が進んできたか。()
- (2) 乾燥した草原地帯では、過度な放牧や耕作によって、いったん植生が失われてしまうと何が進行するか。()
- (3) 産業が発達した国々では、工場や自動車、家庭からの排気や廃水により、何が発生するか。()や()
- (4) 地球温暖化は、何が影響していると考えられているか。()
- (5) 利便性の高い冷却剤として大量に使われてきたフロンは、成層圏に達すると何を破壊するか。()
- (6) 環境問題を解決するためには、その原因となっている人類の活動を見直して、どのような開発へ移行することが求められているか。()

2 熱帯林の破壊とその解決 (p.150～151)

- (1) 熱帯林で大規模な伐採が行われているのは、何のためか。()
- (2) いったん破壊された熱帯林が簡単に再生しないのはなぜか。()
- (3) 世界の熱帯林の中で最も面積が広いのは、どこの熱帯林か。()
- (4) マトラ島の熱帯林が、東部を中心に急速に減少しているのは、何を植林するためか。()

3 地球温暖化の現状と対策 (p.152～153)

- (1) 地球温暖化の影響により、どのようなことが危惧されているか。()に
適語を入れなさい。

海水の膨張や()の融解による()の上昇、熱波や
()、洪水、暴風雨などの()の激化、高温による
()の生産減少、()などの感染地域の拡大、急激
な環境変化による()の破壊などが想定されている。

- (2) 1997年に採択された「京都議定書」において、大量の二酸化炭素を排出してきた先進国には、何が設定されたか。()
- (3) 京都議定書は、どのような障害があったか。()

3 節 世界の資源・エネルギー問題

1 限りある資源・エネルギー（p.154～155）

- (1) エネルギー資源について（ ）に適語を入れなさい。

エネルギー資源は、生産地が（ ）している一方、欧米や日本などの（ ）や、インドや中国などの（ ）において大量に（ ）されている。
--

- (2) 資源・エネルギーの生産や管理に国家が自国の利益を優先して介入するやり方を何というか。

（ ）

- (3) 繰り返し利用できる自然の力をエネルギー源とするものを何というか。

（ ）

2 地域で異なるエネルギー問題（p.156～157）

- (1) 日本で 1960 年代に国産の石炭から中東産の石油への転換が進んだことを何というか。

（ ）

- (2) 次の a ～ c は、どこの国のことか。（ ）に国名を入れなさい。

a. 2022 年までに国内の原子力発電所をすべて廃止することを決定し、再生可能エネルギーへの転換を加速している。（ ）

b. 原子力発電を中心にエネルギー政策を進めながら、再生可能エネルギーの利用にも積極的に取り組んでいる。（ ）

c. 偏西風を利用した風力発電がさかんで、近年は景観と騒音を考慮して、洋上に発電施設を設置する例が増えている。（ ）

4 節 世界の人口問題

1 人口の増加と少子化・高齢化（p.158～159）

- (1) 発展途上国では、現在でも年平均の人口増加率が 2 % 以上で、多すぎる人口によって、どのような問題が発生しているか。

（ ）

- (2) 日本を含む先進国では、出生率の低下と平均寿命の伸びによって、どのようなことが進んでいるか。

（ ）

2 地域で異なる人口問題（p.160～161）

- (1) インドで人口が急速に増加したことについて（ ）に適語を入れなさい。

- | |
|------------------------------|
| 1. （ ）水準の向上とともに（ ）の知識が広まったこと |
| 2. （ ）施設の普及によって、（ ）が低下したため。 |

- (2) インドは、現在も、何の普及に力を入れているか。（ ）

- (3) インドの農村部では、子どもは何と考えられているか。（ ）

(4) デンマークの少子化への対策について () に適語を入れなさい。

出産や () を支援する環境の整備も進められている。産後および () 休業が () とともに保障され、 () 施設も充実している。また、 () や () は無償である。

(5) 最近では、税金で高福祉を支える方式に限界がみえているのは、なぜか。

() や () の支払いが増加する一方で、 () を負担する () は減少傾向にあるから。

5 節 世界の食料問題

1 飢餓と飽食 (p.162～163)

(1) 発展途上国には、食料自給率と一人あたりのカロリー摂取量の低い国が多い理由は何か。 () に適語を入れなさい。

1. () の差が大きく、食料が () に分配されないこと。
2. () が広い土地を占有していること。
3. 外国企業が () の () を大量生産していること。

(2) 先進国では、肉類が大量に消費されているが、その生産には、何が大量に必要であるか。 ()

(3) 先進国内の問題として、どのようなことがあげられるか。 ()

6 節 世界の都市・居住問題

1 都市への人口集中と諸問題 (p.164～165)

(1) 発展途上国では、経済活動が活発になると農村部の人々は、何を求めて都市に移動するようになるか。 ()

(2) 先進国の大都市で起こった次の現象を何というか。

- ・都心部から、住民が郊外へ流出する。 ()
- ・郊外では人口増加とともに無秩序な開発があいつぎ、居住環境に問題のある住宅地が形成される。 ()

(3) 環境や文化的伝統と経済活動との調和がとれた、持続可能な発展をめざす都市のことを何というか。 ()

2 地域で異なる都市・居住問題 (p.166～167)

(1) メキシコシティ市街地を取り囲む盆地の斜面では、農村部から職を求めて出てきた人などにより、何が形成されているか。 ()

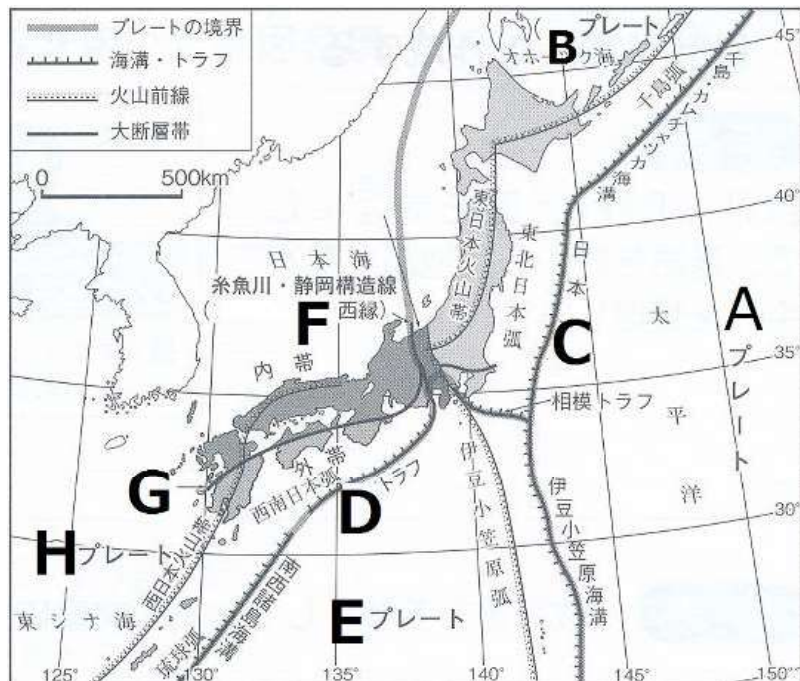
(2) ロンドンでは、交通渋滞を緩和させる目的で、何という制度が取り入れられているか。 ()

2 章 日本の自然環境と防災

1 日本の自然環境 (p.178~179)

(1) 右の地図のA~Hに入る語を下の語群から選び、書き入れなさい。

- A. () プレート
 B. () プレート
 C. ()
 D. () トラフ
 E. () プレート
 F. ()
 G. () 線
 H. () プレート



[語群] 太平洋、 南海、 ユーラシア、 北アメリカ、 フォッサマグナ、
 日本海溝、 フィリピン海、 中央構造

- (2) 日本列島は4枚のプレートが隣接する場所に位置していて、プレートが沈み込んだり、プレートがずれたり、プレートの内部が破壊されたりすることが多いため、何が発生しやすいか。 ()
- (3) プレートが沈み込む場所の近くではマグマが生成されやすいため、日本列島には何が多いか。 ()
- (4) 細長い日本列島の山地から発する川は、大陸の川と比べると、どのような特徴があるか。 ()
- (5) 河川の流域に台風や梅雨などによる大雨が降ると、水や土砂が一気に下流に流れ出て、どのようなことが生じやすいか。 ()
- (6) 瀬戸内や内陸の盆地では、季節風の影響が弱いために、ほかの地域よりも降水が少なく、何の被害がみられるか。 ()

2 地震被害と防災 (p.180~185)

(1) 次のような地震をそれぞれ何というか。

- ・ ひずみの解放がおもに二つのプレートの境におけるずれによって起こる地震。

()

- ・ ひずみの解放が単一のプレートの中にある活断層のずれによって起こる地震。

()

(2) 地震が発生した場所(震源)における地震の大きさは、何で表されるか。

()

(3) 震度とは、何を示す指標か。

()

(4) 地震の震動により、水分を多く含む砂質の地盤が一時的に液体のようになる現象を何というか。<p.180,1 参照> ()

(5) 東北地方太平洋沖地震について () に適語を入れなさい。

最大震度は () に達し、東日本太平洋沿岸一帯を襲う () を発生させ、死者・行方不明者が () 人をこえる大災害となった。

(6) 福島第一原子力発電所も被災し、どのような災害も生じたか。

() の放出

(7) 兵庫県南部地震の際に、何が大きな問題となったか。 () に適語を入れなさい。

電気や水、鉄道などの () や、学校などに避難した住民のための () の確保。

(8) 神戸市では、どこが災害時の拠点となるように整備を進めたか。 ()

3 火山災害と防災 (p.186~189)

(1) 火口から噴出した高温のガスが、砂礫や火山灰といっしょに斜面を高速で流れ下る現象を何というか。 ()

(2) 火口から噴出したマグマが斜面を流れ下るものを何というか。 ()

(3) 雲仙普賢岳の噴火は今後も生じる可能性があるので、将来の災害に備えて、何が設置され、何の作成が行われているか。<p.187,11-12>

() の設置、 () の作成

4 風水害・雪害と防災 (p.190~195)

(1) 山間部では、急な斜面に多量の降水がもたされることによって、地盤がゆるみ、どのようなことが発生するか。 () や ()

(2) くずれた土砂が水とともに谷を流れ下る現象を何というか。 ()

(3) 都市部や農地から河川や湖への排水が、排水設備の能力の限界などにより困難になったために生じる洪水を何とよぶか。<p.190,11> ()

(4) 斜面に積もった雪が崩れ落ちる現象を何というか。 ()

(5) 集落を堤防で取り囲んだところを何というか。 ()

(6) 狭い範囲に多量の雨が集中して降る現象を何というか。 ()

5 災害に備える (p.196~197)

(1) 身近な地域で起こりやすい災害を把握するためには、自分の住んでいる地域の自治体が公開している何を見ればよいか。 ()

動画でスクーリングの予習・復習をしよう ～解説動画のご案内～

令和2年12月10日(木)配布

単通社会科では、2020年5月ごろから「単通メール」を使って学習用“YouTube 授業動画”を公開しています。1回15分の動画となっており、「単通メール」に登録している生徒さんに、視聴用URLをお知らせしています。今回はそれよりも短い動画で、手軽に見られるよう再編集し、スマホから読み取れるQRコードにしました。



また、埼玉県立総合教育センターのホームページの「家庭学習支援サイト」でも、同じものをアップしています。埼玉県内の各学校のいろいろな先生の授業の動画がアップされています。

《復習用》 第2回・3回スクーリングで解説したもの



《予習用》 第4回スクーリングで解説するもの



次回1月7日に解説する内容です。



地理 A 第4回スクーリング 補足プリント

Q1 あなたは「SDGs」の中で、どれが最も大切な目標であると思いますか? ()

Q2 次の写真①②は、「SDGs」の17のゴールのどれに関連するだろうか?
関連すると思う「SDGs」を選び、配布されたシールをはがして写真の横に貼ってみよう。

例1) 設備が不十分な教室で学ぶザンビアの生徒



例2) 日本のスーパーのリサイクルBOX



① 電気が通らないアフリカ農村で売られていた木炭



② 24時間利用できないザンビアの水道



Q3 SDGs (持続可能な開発目標) や防災について学び、考えたことや感想を書いてみよう。



令和3年1月7日(木) 学籍番号 () 名前 ()

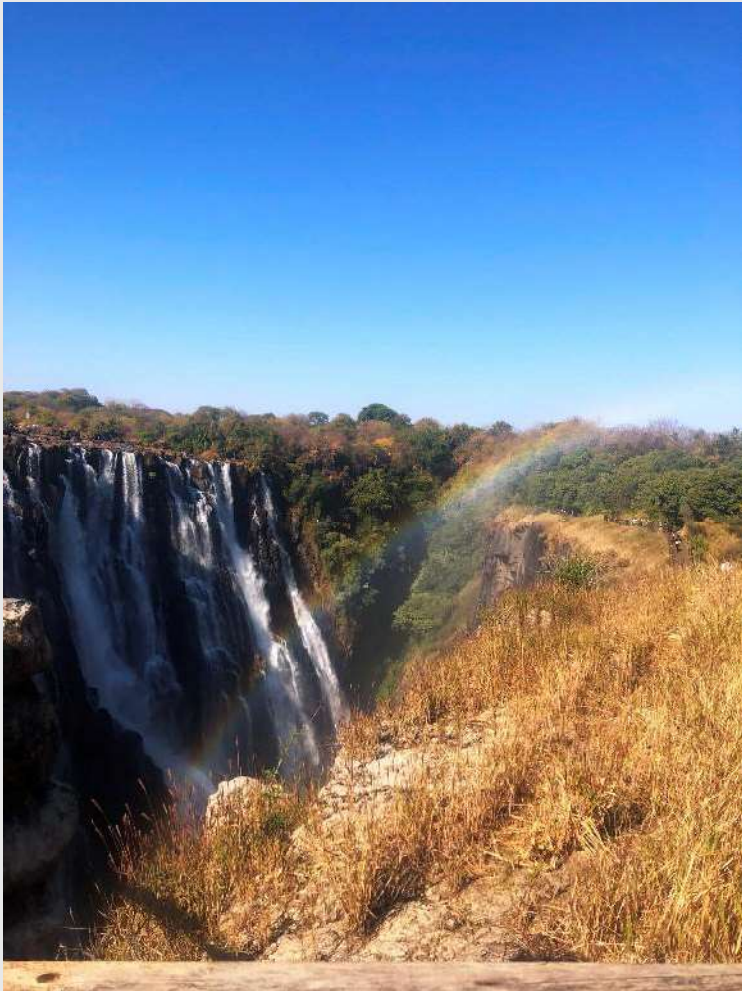


令和2年度
JICA教師海外研修

「地理A」授業用スライド

埼玉県立大宮中央高等学校
仲田 莉果（なかだ りか）

アフリカのザンビアに行ってきました



「ザンビア」について



人口：1709万人
(東京都よりやや多い)
面積：75.3万km²
(日本の約2倍)
平均寿命：60.8歳
乳児死亡率：43%



ヴィクトリアの滝があるアフリカの内陸国
銅とコバルト生産が世界有数

「S D Gs」とは？

- ◆ **S**ustainable サステイナブル
= 「**持続可能な**」
- ◆ **D**evelopment ディベロップメント
= 「**開発**」
- ◆ **G**oals ゴールズ
= 17の「**目標**」

「持続可能な開発目標」とは？

2015年国連サミットで採択された目標

貧困などの**経済・社会**問題、**環境**問題に関して
2030年までに実現すべき目標を定める



17の「持続可能な開発目標」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





Q 1、「SDGs」の中で
どれが最も大切な目標
だと思いますか？

Q 1 ,SDG s の中でどれが最も大切な目標だと思いますか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

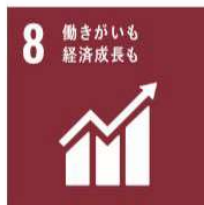
12 つくる責任
つかう責任



4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等を
なくそう



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに





Q 2、次の写真は「SDGs」
の 17 のゴールのどれに
関連するだろうか？

12 つくる責任
つかう責任



実際にプリントをやってみよう

Q2 次の写真は、「SDGs」の17のゴールのどれに関連するだろうか？
関連すると思うものを選んで、「SDGs」シールをはがして、その横に貼ってみよう。

① 電気が通らないアフリカ農村で売られていた「木炭」



② 「鍵」のついたザンビアの水道



Q2,SDGsのどれに関連するだろうか？(解答)

①



15 陸の豊かさも
守ろう



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



②



6 安全な水とトイレ
を世界中に



10 人や国の不平等
をなくそう



アフリカ農村部で売られる木炭

24時間使えないザンビアの水道



みなさんは『フェアトレード』
というと、どんなイメージが
浮かびますか？

配布した「S D G s シール」も “フェアトレード”製品



**Banana
&
Planet**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



アフリカの人と生物多様性を守るバナナペーパー
フェアトレード認証のバナナ繊維20%以上を使っています。
One Planet Cafe Ltd., Guaranteed Fair Trade



独立行政法人 国際協力機構
JICA 東京
URL <https://www.jica.go.jp/tokyo/>

バナナペーパーができるまで



アフリカのバナナを使ったバナナペーパーは、人と野生動物を環境問題から守るためにつくられたフェアトレードの製品です。

震災遺構 「旧荒浜小学校」



[震災遺構 仙台市立荒浜小学校 | 仙台市 \(city.sendai.jp\)](http://city.sendai.jp)

「防災マップ」で 大宮中央高校を探してみよう



(<https://arcg.is/1eHDru>)

奈良大学 地理学科 木村教授より提供

QRコードを使用して防災マップを見よう



QRコードから読み取り



(奈良大学作成)

スマホからQRコードを読み取り
「防災マップ」にアクセス

自分の学校の位置を確認しよう

埼玉県立大宮中央高校



「大宮中央高校」と
入力し、検索



自分のスマホで実際に検索してみよう

大宮中央高校は「避難所」



避難所指定されている大宮中央高校





お疲れ様でした

～END～

